

## 「JMDC データを用いた臨床疫学・経済分析および統計手法開発」の実施について (審査番号 2019128NI)

本研究室では、東京大学大学院医学系研究科・医学部研究倫理委員会の承認のもと、「JMDC データを用いた臨床疫学・経済分析および統計手法開発」を実施しています。研究期間は、2024年3月31日までを予定しています。

### 【研究の背景と目的】

本研究では、株式会社 JMDC が有償で提供する匿名化された健康診断データおよびレセプトデータ（以下、JMDC データ）を用います。JMDC データは、複数の健康保険組合から学術研究等の目的で収集され連結不可能匿名化された健康診断データおよび外来・入院レセプトデータを含みます。健康診断データは個人レベルでレセプトデータとリンクされていません。

これまで国内外において、入院レセプトデータ単独の研究は蓄積されています。しかし、健康診断データと外来・入院レセプトデータをリンクさせたデータを用いた臨床疫学・経済分析や統計手法開発の先行研究はほとんどありません。そこで、本研究は、JMDC データを用いて、以下のような臨床疫学・経済分析および統計手法開発を行うことを目的とします。

- (1) 健康診断における有所見率に関連する受診者要因および地理的要因の分析
- (2) 健康診断における有所見者の医療機関への受診状況と、それに関連する要因の分析
- (3) 各種疾患の外来受診頻度と、疾患の増悪による入院イベントの発生頻度との関連についての分析
- (4) 診療報酬制度改訂前後の受療行動および医療費の変化に関する分析
- (5) レセプト・検診データベースを利用した統計手法の開発

### 【研究の方法】

2006年4月から2017年3月までの11年分の JMDC データを用います。レセプトデータには、複数の健康保険組合の被保険者本人および家族の医療機関（診療所・病院）への受診により発生する医科・調剤・DPC レセプトが含まれます。また、被保険者本人については、職場の定期健康診断（主として生活習慣病に関する健診）の結果データが含まれています。

### 【データ使用環境】

JMDC データはすでに連結不可能匿名化されています。データが格納されたハードディスクを JMDC から受領し、研究代表者の所属する生物統計情報学講座教員室でインターネット接続されていないスタンドアローンのコンピューターにデータを保存します。教員室はテンキー錠を用いて常時施錠され、教室スタッフのみが入室可能となっています。サーバー・

コンピューターと VPN ネットワークでつながれたシンクライアント端末を設置し、その端末上でデータ分析を行います。

#### **【結果の報告について】**

研究の結果は国際医学雑誌・国内医学雑誌及び学会報告を通じ社会に還元します。なお、成果物以外のレセプト情報等は、管理領域から持ち出しません。

#### **【倫理的配慮】**

本研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。なお、開示すべき利益相反はありません。

#### **【連絡先】**

研究責任者：東京大学大学院医学系研究科 生物統計情報学講座 特任教授 小出大介

住所：東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部附属病院 中央診療棟 II 8階

電話：03-3815-5411 (内線 34400)